

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)関西医科大学リハビリテーション学	階数	地上6F
建設地	枚方市宇山東町	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,600時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年12月 予定	評価の実施日	2019年9月3日
敷地面積	20,719 m <sup>2</sup>	作成者	前田建設工業 五味
建築面積	901 m <sup>2</sup>	確認日	2019年9月3日
延床面積	5,415 m <sup>2</sup>	確認者	前田建設工業 五味



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 0.9</b> ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>②建築物の取組み 86%</p> <p>③上記+②以外の 86%</p> <p>④上記+ 86%</p> <p>46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>92 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> Qのスコア = 2.9</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 3.1</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 3.1</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> Q3のスコア = 2.4</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> LRのスコア = 3.0</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 3.2</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 2.9</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 2.8</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>文教地区、住宅街に合わせた、重厚な趣を持った計画とし、これまで育まれてきた敷地の緑化等環境維持に配慮した。</p>	<p><b>その他</b></p>	
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>大学の講義・実習等が滞りなく行われることを意識した設計としている。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>維持管理のしやすさに配慮している。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>道路沿いを中心に形成された緑地帯を守る計画としている。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>省エネの照明器具の採用など省エネルギーに配慮した。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>節水器具の採用を行った。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>大学利用者向けの駐輪場・駐車場を設けた。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0083

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)関西医科大学リハビリテーション学部棟新築工事						
	建設地	枚方市宇山東町						
	用途/区分	学校(大学等)						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						3	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.5	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				2.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.1	3	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							